

鹿児島大学病院 小児科 で

シェーグレン症候群の治療を受けた患者さん及びご家族の方へ

(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院小児科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】 シェーグレン病患者の耳下腺超音波検査における診断意義の検討（通常保険診療内検査の結果に関する後ろ向き研究）

【研究機関】 鹿児島大学病院 小児診療センター 小児科

【研究責任者】 河野嘉文（小児科・教授）

【研究の目的】 現在、シェーグレン症候群の診断では小児での早期診断が難しいですが、早期診断が出来れば早期治療に結びつき罹患児の予後を改善する可能性が高いと考えられます。シェーグレン症候群の早期診断に耳下腺超音波検査が有用であると示す事を目的とします。

【研究の方法】 シェーグレン症候群患者が通常の診療で来院された時に耳下腺超音波検査を実施しています。この画像を利用し gray-scale 法と power-Doppler 法による grading 値を分析します。

●対象となる患者さん

平成6年4月1日～平成26年3月31日までに鹿児島大学病院小児診療センター小児科で「シェーグレン症候群」或は「シェーグレン症候群の疑い」と診断された患者さんを対象としています。

●診療録（カルテ）から利用する情報

耳下腺超音波検査のエコー画像、血液検査（IgG・AMY・CRP・ESR1時間値）の結果、臨床症状の情報を利用します。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学病院小児診療センター小児科の研究費で実施します。企業からの寄付を受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番地1号
鹿児島大学病院 小児診療センター 小児科

医員 山遠 剛

電話 099-275-5354 FAX 099-265-7196